

平成 2 0 年 度

学 校 経 営 計 画 最 終 評 価

京 都 府 立 城 陽 高 等 学 校

(様式1)

平成20年度 府立城陽高等学校 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン)

最終評価

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>努力する心をはぐくみ、知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい生徒の育成を目指す。あわせて、自ら進路を切り拓く能力や態度を養う。 また、あらゆる教育活動を通して、生命と基本的人権を尊重する態度や実践力を育成する。</p>	<p>・高校生としてのルール・マナーや身だしなみ指導の徹底に努めた結果、一定の成果があった。 ・希望進路の実現に向けて継続的な進路指導に努めた結果、ほぼ予定通りの成果が得られた。 ・更なる学力向上の取組と生徒指導のより一層の充実を目指す。</p>	<p>1 授業を大切にする取組の充実と基礎・基本の徹底で、学力を向上させる。 2 生徒の規範意識の醸成を図り、遅刻防止に努め、規律ある良好な教育環境を整える。 3 計画的・継続的な進路指導を行い、生徒の進路目標を実現させる。 4 部活動を活性化し、心身を鍛える。 5 保護者・地域及び校種間の連携を強化し、信頼される学校づくりを推進する。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
組織・運営	各分掌の活動を充実させ、機能を活性化させる。	教職員間のより高次な強調・協力関係を確立する。	C	C	<p>教職員の共通理解、共通認識や情報交換のもと、一致した指導及び協力が得られる体制づくりは確立できた。分掌の重点目標や具体的方策は、ほぼ策定できた。しかし、それを達成させることは容易ではなかった。</p> <p>中間評価及び総括評価は行った。部長会議の内容は教職員におおむね伝わった。また、分掌間の連絡調整も図れた。</p> <p>建設的な意見を得ることができた。学校評議員・PTA役員・保護者・生徒・地域住民を対象にアンケートを実施した。その意見を真摯に受け止め、来年度の学校経営に活用したい。</p>
		各分掌で、学校経営の方針や重点を踏まえた年度重点目標・具体的方策を策定する。	C		
		分掌活動の中間評価、総括評価を行う。	B		
組織・運営	部長会議や各種会議の充実を図り、諸機関が円滑に運営される体制づくりを行う。	部長会議では、分掌間の連絡調整を密にし、部長会議の内容が教員に確実に伝わるようにする。	C	C	<p>建設的な意見を得ることができた。学校評議員・PTA役員・保護者・生徒・地域住民を対象にアンケートを実施した。その意見を真摯に受け止め、来年度の学校経営に活用したい。</p>
		組織的・効果的な会議運営を行う。	C		
		学校外からの意見を素直に受け止め、学校経営に生かすことができる体制をつくる。	C		
教育課程の編成と実施	基礎基本の定着を図るとともに、生徒の実態を踏まえた教育課程を編成する。	生徒・保護者・地域住民を対象に、学校評価を目的としたアンケートを実施する。	C	C	<p>学力向上をより鮮明にした教育課程の編成ができた。来年度は授業時間数の確保及び授業規律の確保の観点から、2学期始業日を8月25日とし、また、校時についてもSHRを朝に設置している。多方面から外部講師を招き実施した。当初計画以上の内容・実績・回数を実施することができた。その結果、目標以上の成果が得られた。</p>
		学校評議員に意見を求めるため、学校評議員会を年間数回開催する。	C		
		生徒の興味・関心・希望等に対応した教育課程を編成する。	C		
国際理解教育の推進を図る。	各機関が、組織的・計画的に企画、運営、研究をする。	C	C		

教科指導	基礎学力の定着を図るとともに、学力向上対策に取り組み、個に応じた指導の充実により、学力の伸長を目指す。	授業規律の確保に努める。	C	C	追認指導および成績不振者指導は、指導を徹底して行い、昨年度より改善が見られた。欠席時数の連絡票を改善し、教科担当とHR担任との連絡を密にすることができた。来年度は、本校で実施している生活実態調査と成績との相関関係を明らかにし、基本的な生活習慣の確立もめざしながら、学力向上の取り組みを進めていく必要がある。研究授業においても、来年度は教科を超えての研修を実施したい。	
		習熟度別講座や少人数指導を効果的に実施する。	C			C
		補充、補習を実施し、個々の生徒に対応した指導を工夫する。	C			
	教科の指導力向上を図る。	生徒による授業評価を実施し、指導内容や方法について工夫する。	C			B
		公開授業・研究授業を実施し、研究協議を行う。	B			
	家庭における学習習慣の確立を図る。	小テストの実施、週末課題等の提示により家庭学習の時間を増やす。	C			C
生徒の状況を把握し、適切な学習課題を与え、予習復習の指導を行う。		C				
担任と教科担当との協力体制を高める。	欠席の通知をはじめ、連絡を密にし、不登校生徒、怠学生徒の指導を行う。	B	B			
	日常的に成績不振生徒を把握し、対策を講じる。	B				
生徒の興味関心を深める指導を積極的に行う。	図書館資料や視聴覚教材等の充実を図り、その活用を促進する。	C	C			
生徒指導	教職員の共通理解を深め、一致した指導体制を確立する。	生徒指導部を中心に、学年部と連携し具体的な指導を確立する。	B	B	年間を通して継続的に実施していくことが重要であり、生徒一人一人の意識向上に努力して行きたい。一斉点検や毎朝の正門での指導では、一定の改善が見られたが、校舎内や下校時の身だしなみの乱れは例年以上に課題が残った。全教職員の一致した指導が今後の課題である。登下校の立ち番指導などの負担も多く、全校体制としての定期的な巡視の実施は実現出来なかった。今後は鍵当番の前後にトイレ巡視を実施していける体制を考えたい。携帯等の問題は今後も家庭の協力なしには難しい課題である。	
		計画的継続的に指導を行う。	B			
	生活規律を整え、学校生活を中心に据えた生活を送れるようにする。	年間を通して服装・頭髪の指導を行う。	B			
		全教職員で登校時指導・校内巡回を実施するとともに、定期的にHR掲示を作成し生活規律を整える。	C	C		
いじめの問題への取組の徹底を図る。	学年部、教科担当と連携し、授業規律を確保する。	C				
	「いじめは人間として絶対に許されない」との意識を、生徒一人一人に徹底することにより、いじめを許さない学校づくりに努める。	C	C			
	いじめの早期発見に努めるとともに、いじめを発見した場合には、保護者や関係各機関との連携により早期解決に向けて迅速な対応を図る。	C				

特別活動	教育目標に根ざしたホームルーム活動を計画的に実行し、また集団活動を通して充実した学校生活を送らせるとともに、リーダーの育成を図る。	3年間を見通した当該学年の年間指導計画を作成する。	C	C	C	学校行事への取組は全学年が例年どおり積極的であった。 顕著な結果はないが、生徒会を中心に各委員会も活発な活動ができており、より一層の活性化が期待される。 運動部を中心としたリーダーの育成はできつつあるが、HRや生徒会活動では人員の確保が課題である。
		生徒会を中心に委員会活動や係活動を積極的に支援し、活性化を図る。	C			
	入部率や参加率を高め、部活動、生徒会活動、ボランティア活動を活性化させる。	部活動紹介や広報活動を工夫し、校内活動や地域に根ざした活動を活性化させる。	C			
		課外活動やボランティアのガイダンスや広報活動を積極的に行う。	C			
進路指導	生徒一人一人の進路目標の実現に向けて、諸機関が十分に連携し、指導の充実を図る。	様々な進路情報について、その提供、交換を適宜行う。	C	B	B	各学年について進路希望調査を実施している。教務部に資料として進路マップ、府立実力テストの結果を提供することで、学力や進路意識の分析に活用された。担任・部活動顧問と連携し、模擬試験の計画的受験の指導を行っている。進路年間指導計画に従い、各学年においてガイダンス及び進路ホームルームを実施している。3年生を対象にした各種説明会については、時機に応じて実施している。学年と情報交換しながら共通理解のもとで、ガイダンスや分野別学習会等を実施している。
		進路選択、進路実現のためのガイダンスを各学年で年2回実施する。	B			
		進路補習等学力伸長対策をより効果的に行う。	C			
		個々の生徒の学力を分析し、進路希望等を把握する。	B			
		面談実施し、個に応じた適切な指導を工夫する。	B			
人権教育	豊かな人権感覚を育てるために、学年と人権教育部が連携して、人権教育を計画的に実施し、人権尊重の実践的態度を育む。	障害者問題を通して、共に生きる社会の実現に向けて考える。	C	C	C	全学年で、4月当初の計画どおり人権学習を行うことにより、さまざまな人権問題についての生徒の人権を尊重する精神を育むことができた。
		女性の人権問題を通して、男女共同参画社会の実現に向けて考える。	C			
		同和問題に対して多方向からアプローチし差別を許さない生き方について考える。	C			
健康・安全教育	健康に対する意識の向上に努め、一人ひとりの健康課題に応じた保健指導を実施する。	健康診断等の全員受検を目指す。	C	C	C	本校SCを講師としての事例研を3回実施した。 生徒理解やSCの活用の仕方など得るところが多かったが、全員が参加できる設定ではなかったので実施形態も含め課題としたい。 教育相談会議については欠席についての特別配慮をどうするかより、どう本人を理解し支援をしていくかを中心に運営ができた。人間関係の微妙な崩れから登校できなくなる生徒が増えてきているので、それにも対応していきたい。
		保健便りにより健康に対する意識を啓発する。	C			
		城陽保健デーの内容を充実させる。	B			
	防犯教育、避難訓練の充実を図り、安全確保に対する意識を高め、緊急時に適切な行動がとれるようにする。	不審者の侵入を想定した防犯教室を実施する。	C	C		
学校火災を想定した避難訓練を生徒も含めて実施する。		C				

研究・研修	様々な課題に関して、教職員の意識と力量を高め、共通理解を図るために、計画的、効果的に実施する。	各分掌が主管する研修会を、年1回以上、実施する。 ----- 保護者や地域住民に公開できる研修会の実施を検討する。	C ----- C	C ----- C	分掌によっては、年2回以上開催できたが、時間的余裕がなく1回の分掌もあった。予定どおり実施することができた。教職員の意識と力量を高めるための研修を実施し、課題解決に向けての共通理解をある程度得ることができた。
学習環境・安全管理	環境美化を推進し、望ましい学習環境づくりを進める。	学習環境調査を実施し、諸機関が連携して、よりよい環境整備を行う。 ----- 定例大掃除には、重点項目を決め、全校で集中的に取り組む。	C ----- C	C ----- C	日々の清掃活動は充実していない。改革Pより提言を受けたが、美化意識を高め清掃活動を充実させていく根本的な解決にはならないので、参考にしながら充実を図っていきたい。生活習慣についてのアンケートを実施し、保健だよりにして生徒には返した。今回はクラスごとの集計であったため次年度はもう少し詳しく分析できるようにしたい。健康相談については必要に応じて実施している。たばこ、薬物乱用、性を特別活動として学習させていく必要性は大きいので、学年と連携を深めながら充実させていきたい。
	施設設備の安全管理の徹底を図る。	施設設備等の日常点検、定期点検を実施し、問題箇所があれば速やかな対策を講じる。	C	C	
	学校の危機管理について日頃から対応できるよう教職員の共通理解を図る。	不審者の侵入を未然に防止するため、事務室窓口での来校者のチェック体制の充実を図る。	C	C	
	安全で安心して学校生活を送れるように、登下校時における通学マナーの育成を図る。	P T A、警察署、地域との連携の中で通学路観察、朝の立ち番指導、下校時の校門指導等交通安全対策を積極的に行う。	C	C	
情報・文書管理	個人情報管理を徹底する。	生徒の学籍・成績等のデータ管理と運用に対する共通理解を深める。 ----- 生徒、教職員等の個人情報管理を徹底する。	B ----- C	B ----- B	校内LANについて、他分掌や教科（事務部・商業情報科）との連携をしながら、刷新と確立が必要である。個人情報の情報管理は、一定できている。
家庭・地域社会との連携	開かれた学校を目指し、学校外の意見を取り入れた学校評価を行い、評価結果を公表する。	評価結果を学校評議員に掲示し、意見を求めるなど学校評議員の活用を図る。 ----- 保護者や地域に対して教育活動を公開する。	C ----- C	C ----- C	外部評価（保護者、地域住民等）を実施し、集計結果等をもとに学校評議員との意見交流を図った。本年度は、学校のホームページをタイムリーに更新することができた。中学生・保護者向け学校公開3回、地域・保護者向け授業公開を1回実施し、本校の教育についておおむね理解を得ることができた。次年度は、さらに中学生の進路指導に合わせた広報や計画的な学校公開を全校体制で実施することが重要である。
	地域の諸活動に積極的に参加する。	ボランティア活動等について、積極的に生徒に知らせ、参加を促す。 ----- 部活動等で、地域の諸活動への参加を促す。	C ----- C	C ----- C	
次年度への改善の方向性	本年度の学校経営の重点については昨年度と同様、達成されつつある。昨年度に引き続き高校生としてマナーを身につけることや身だしなみ等の指導に重点をおき、一定の成果をあげた。また、生徒の進路についてもほぼ希望を実現させることができた。部活動については、入部率が昨年度を上回り熱心に活動している。男子バスケット部、陸上部等で成果を上げている。来年度は、教育課程特例校として学力のより一層の向上を目指し、教育環境の更なる向上を図るとともに、生徒に対して身だしなみ指導の一層の徹底と校則を守るという規範意識を育て、部活動では、近畿大会や全国大会に出場する部や部員の数を増やし、更なる活性化を図りたい。また、基本的人権を尊重し相手をいたわる優しい心を持った生徒の育成を目指したい。				